

アジア欧州会合（ASEM）第13回首脳会合
新型コロナウイルス感染症後の社会経済的復興に関するブノンペン声明（骨子）

- 首脳は、持続可能な開発のための2030アジェンダ、パリ協定及びアディスアベバ行動目標への完全なコミットメントを再確認。（パラ3）
- 首脳は、パンデミックの抑制、緩和及びその対応における世界保健機関（WHO）の取組を賞賛するとともに、国連システムにおけるWHOの主要なリーダーシップを認識。（パラ6）
- 首脳は、各国及び多国間のアプローチと、ACT アクセラレータに設置されたCOVAX ファシリティやその他関係する適切なイニシアティブなどの国際協力の強化を呼びかけ。（パラ7）
- 首脳は、公衆衛生への脅威を最小化し、将来の衛生危機のリスクを低減させるため、国連総会ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）ハイレベル会合での政治宣言の完全な実施等を通じて世界健康安全保障を促進するために協働することを改めて強調。（パラ8）
- 首脳は、多様な課題に効果的に対応するために、人間の安全保障と持続可能な開発の確保の重要性を強調するとともに、選択可能な全ての政策手段を継続して用いる決意を再確認。（パラ10）
- 首脳は、新型コロナとウイルスによる社会経済的な影響への対策として、個人情報保護を完全に遵守し、オンラインにおける人権と自由を保護しつつ、デジタルテクノロジー、情報通信技術（ICT）、イノベーションについて、公平なアクセスを確保し、活用する重要性を再確認。首脳は、国境を越えた信頼性のある自由なデータ流通を促進するための協力強化を宣誓。（パラ12）
- 首脳はまた、各国の独自のマクロ経済上の条件及び中所得国の信用補完を考慮しつつ、低所得国の債務持続性を強化する努力を歓迎。首脳はまた、低所得国を支援するためG20で合意された債務支払猶予イニシアティブ（DSSI）及びDSSI後の債務措置に係る共通枠組を支持。（パラ14）
- 首脳は、各国のできる限り高い野心を示す国が決定する貢献（NDC）の強化を含め、いくつかのASEM参加国による最近のネットゼロへのコミットメントにも留意。首脳は、森林やその他の陸域・海洋生態系が温室効果ガスの吸収源及び貯蔵庫として機能すること、また、自然と生態系を保護・保全・回復することの重要性を強調。首脳は、適応策を地方、国、地域の計画にさらに統合する必要性に留意。首脳はまた、まだ提出していない締約国に対し、

適応に関する情報を提出するよう要請。(パラ15)

- 首脳は、世界貿易機関(WTO)を中核に据えた、開かれた、透明性のある、包括的で、かつ、無差別なルールに基づく多角的貿易体制の維持及び強化に対する強い支持を再確認。(パラ18)
- 首脳は、新型コロナによる危機が急速なデジタル化を進めていることを認識。首脳はデジタル化計画を加速するよう求めた。首脳はまた、特にデジタル・インフラ開発、デジタルスキル及びデジタルリテラシーの提供、能力向上において、デジタル・デバイドを埋めるための協力を強化することで一致。(パラ19)
- 首脳は、今般のパンデミックから、より強く、より強靱な姿で立ち上がるために、互いに協力と協働を通じて助け合うことへのコミットメントを再確認。アジアと欧州のパートナーシップは、新型コロナからのグローバルな復興において、強さとインスピレーションの源。(パラ24)